

日蓮大聖人御書全集

うえのどのごへんじ

上野殿御返事

じこくそうおう こと

(時国相応の事)

新版
1925

うえのどのごへんじ じこくそうおう こと

上野殿御返事 (時国相応の事)

こうあん ねん

弘安 4 年 ('81)

がつ にち

9 月 20 日

さい

60 歳

なんじょうときみつ

南条時光

家 芋 いちだ 牛 蒡 ひと 苞 だいこんろっぼん

いえのいも一駄・ごぼう一つと・大根六本。

芋 いし 牛 蒡 おおうし つの

いもは石のごとし。ごぼうは大牛の角のごとし。大根は

だいぶつどう おお 釘 味 とうりてん かんろ

大仏堂の大きくぎのごとし。あじわいは切利天の甘露のごと

し。

いし しがね 替 くに つち 米 売

石を金にかうる国もあり、土をこめにうるところもあり。

せんきん しがね 持 もの 飢 死 いっぱん 苞

千金の金をもてる者もうえてしぬ。一飯をつとにつめる

もの 劣 きょう い 飢 世 米

者にこれおとれり。経に云わく「うえたるよには、よね

貴

うんぬん

いつさい

くに

とき

たつとし」と云々。一切のことは国により時によることな

ぶつぼう

どうり

弁

そろう

もう

り。仏法はこの道理をわきまうべきにて候。またまた申す

きようきようきんげん

べし。恐々謹言。

こうあんしねんくがつはつか

弘安四年九月二十日

うえのどのごへんじ

上野殿御返事

にちれん

日蓮

かおう

花押